

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第1学年 家庭科 シラバス

【学習の目標等】

【A家族・家庭生活】

1 自分の成長と家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族

【B衣食住の生活】

衣生活

1 目的に応じた衣服の選択 2 日常着の手入れと保管
3 生活を豊かにするための布を用いた製作 4 持続可能な衣生活

住生活

1 住まいのはたらきとこちよさ 2 安全な住まいで安全な暮らし 3 持続可能な住生活

【C消費生活・環境】

1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

家族・家庭生活の基本的な知識について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭生活、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

これからの生活を展望し、家族・家庭生活や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

- ・定期テスト
- ・小テスト
- ・作品の製作

【思考・判断・表現】

- ・定期テスト
- ・学習したことをもとにしたレポートの作成
- ・作品の製作

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・授業中の活動への参加状況や発表
- ・レポートやプリント等の記載内容
- ・定期テスト
- ・作品の製作

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

- ・授業には、教科書、ファイル、筆記用具を用意する。
- ・裁縫道具を使用するので用意する。

(2) 授業の受け方

- ・話し合いや班での活動に積極的に参加しましょう。
- ・これからの生活や将来に、どのように役立てられるかを考えながら学習しましょう。

【教科担任からのメッセージ】

みなさんの生活の中で、また、みなさんが大人になったときに役に立つことを多く扱います。学習したら、家庭で実践してみてください。

(様式 2)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4 月	4	<p>ガイダンス (1)</p> <p>今の自分とこれまで わたしの生活と家族・家庭 (1)</p> <p>家庭を支える社会 中学生にとっての家族 (2)</p>	<p>小学校での学習を振り返り、中学校での学習の見通しをもつ。</p> <p>自分の成長と、家族や地域の人びととのかわりと、自分自身の理解を深める。</p> <p>家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。</p> <p>自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。</p> <p>家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。</p>	<p>自分の成長は家族をはじめ、多くの人に支えられ、影響を受けてきたことに気づく。</p> <p>現在の自分は家庭を支えている仕事について何ができるか考える。</p> <p>自分や家族の生活は家庭の内外の活動によって支えられていることを理解している。</p> <p>家族には、さまざまな形があることを理解する。</p>	<p>小学校の復習</p> <p>自分が家庭でできることを実践する。</p>
5 月	8	<p>衣服で伝わるメッセージ(1)</p> <p>自分らしくコーディネート (1)</p> <p>つなげよう和服の文化 (1)</p> <p>上手な衣服の選択 (1)</p> <p>まかせて衣服の手入れ (1)</p> <p>布の繊維に応じた手入れ (1)</p>	<p>衣服の社会生活上のはたらきがわかる。</p> <p>自分らしい着方を工夫することができる。</p> <p>和服の文化に関心を持ち、和服の着方を知る。</p> <p>既制服を選ぶポイントが分かる。</p> <p>適切な衣服の手入れができる。</p> <p>取り扱い表示の意味がわかる。</p>	<p>目的に応じた衣服の着用を理解している。</p> <p>和服と洋服の構成の違いや着方について理解する。</p> <p>既制服の表示の意味と選び方を理解する。</p> <p>汚れやしみの種類と性質について理解している。</p> <p>取り扱い表示の意味を理解して、手入れができる。</p> <p>正しい洗濯の方法を理解し、実践する。</p>	<p>手持ちの衣服の表示を見て、手入れを行う。</p>

		めざそう洗濯名人 (1) 補修や収納・保管 (1)	衣服の素材にあった洗剤と量を理解する。 アイロンかけや収納、保管を適切に行うことができる。	適切な方法で衣服の手入れをすることができる。	自分で衣服の補修を行う。
6月	4	トートバッグの製作 (4)	布を用いて生活を豊かにする。	自分らしい刺繍を行う。	
7月	6	トートバッグの製作 (5) 持続可能な衣生活 (1)	資源や環境に配慮した衣生活を送るために、工夫できることを考える。	資源や環境に配慮した衣生活を送ることについて考えて工夫する。	自分の生活の中で資源や環境に配慮できることを考える。
9月	6	家庭内事故への備え (2) 災害への備え (2) 持続可能な住生活を目指して (2)	家庭内事故の原因を理解し、安全を考えた住まい方を工夫する。 さまざまな災害に備えて室内を安全に整備する方法を理解する。 持続可能な社会の実現に向けてさまざまな工夫があることを理解する。	幼児や高齢者の家庭内事故の防ぎ方を考えて、工夫する。 地震対策や安全確保の方法を挙げることができる。 持続可能な住生活を工夫し、創造しようとする。	
10月	4	消費生活のしくみ 家庭生活における収入と支出 (1) いろいろな購入方法 購入前に知っておくこと—売買契約— (1) いろいろな支払い方法 情報を活用した上手な購入 (1)	物資とサービスの特徴が分かる。 店舗販売と無店舗販売の特徴が分かる。 即時払い、前払い、後払いの特徴を理解する。	収支のバランスをはかって、計画的に金銭管理をできる。 買い物での問題発生の原因や注意点を理解する。 キャッシュレスのしくみを理解する。	自分の行っている消費活動を振り返る。

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第2学年 家庭科 シラバス

【学習の目標等】

【B 衣食住の生活】

- 1 食事の役割と中学生の栄養の特徴
- 2 中学生に必要な栄養を満たす食事
- 3 日常食の調理と地域の食文化

心身ともに大きく成長する中学生の時期の食生活は、これからの私たちの健康に大きく影響していきます。生命・健康を維持し、体力を向上させるために、自分で食事を整えることができるようにしましょう。食品と資源や環境とのかかわりや、地域の食文化にも目を向け、食生活を自立的に営むようにしましょう。

【評価の観点及び内容】

【知能・技能】

家族・家庭の基本的な技能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【評価の方法】

【知能・技能】

- ・定期テスト
- ・調理実習での実施計画や技能
- ・栄養に関する知識や活用

【思考・判断・表現】

- ・定期テスト
- ・献立の工夫
- ・安全で、効率の良い調理の仕方や、盛り付け、片付けの仕方
- ・調理実習での盛り付けなど仕上げ方

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・授業中の発言および授業中の行動の観察
- ・まとめ振り返り、ワークの記載内容

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

- ・教科書・ファイル・筆記用具は、使う、使わないに関係なく用意する。
- ・調理実習の時は、調理器具の扱い方などを守り、安全に注意して行う。
- ・家庭でも、調理や掃除など家事の手伝いを積極的に行い、自ら生活をよりよくするように心がける。

(2) 授業の受け方

- ・積極的に授業に参加しましょう。
- ・どうしたら今の私たちの生活がよりよくなるか、どうしたら日本の社会に貢献していけるのか、家庭生活を基盤に共生生活や持続可能な社会のために何ができるのかを考え、実践して行きましょう。

【教科担任からのメッセージ】

家庭科の学習は、皆さんの普段の生活をよりよくするために学んでいきます。知識を習得しても、それを使わなければ意味がありません。是非、身に付けた知識や技術を生活の中に取り入れて、心を豊かに生活できるようになってほしいです。

(様式2)

月	時配	学習する内容(時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
10月	4	家庭分野ガイダンス (2) 食事の役割について考える(2)	・昨年度の学習を振り返り、残り2年間の学習の見通しを持つ。 ・食事と生活、健康と食生活について考え、食事の役割を理解しよう。	・家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・人の体は、食べ物でできていることを理解し、自分の体の健康について考えることができる。	・自分の食生活について関心を持ち、食品の栄養や献立について考えてみよう。
11月	6	中学生に必要な栄養 (2) 調理をしよう(2) 食品と栄養素(2)	・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴が分かる ・調理をしながら、調理器具の扱い方やルールを学ぶ。 ・食品の栄養的な特徴を理解し、食品群別摂取量のめやすを活用できる。	・中学生が健康を維持・増進し、成長するために摂取することが望ましい食事摂取基準を知る。 ・「包丁を正しく扱う」ことができるようにする。 ・6つの基礎食品群から食品を過不足なくとり栄養素をバランスよくとれるようにしよう。	
12月	8	食事の計画(2) 調理をしよう(2) 地域の食材と郷土料理 (2) 受け継がれる食文化 (2)	・食品を組み合わせ、1日分の献立を立てることができるようにする。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方を知り、肉を調理することができる。 ・地域で生産される食材を知り、調理を通して地域の食文化を理解する。 ・日本の行事食について知り、行事食を生活に生かすことができる。	・栄養のバランスがよく、おいしい食事になるよう献立を考えよう。 ・加熱による変化を知り、うま味を逃さず、おいしく調理しよう。 ・地域で生産される食材や郷土料理を理解しよう。 ・地域や季節を特徴づける食材や食文化を理解しよう。	
1月	5	調理をしよう(2) 持続可能な社会をつくる(2) 持続可能な社会(1)	・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。 ・持続可能な食生活を送るためにどうしたらよいか考え、話し合ってみよう。 ・資源を節約し、持続可能な社会に必要な生活スタイルを理解する。	・赤身・白身の肉質の違いや加熱の影響を知り、おいしく調理しよう。 ・自然環境に負荷を与えない食生活として、日常どのようなことを実践すればよいか考えてみよう。 ・様々なエネルギーの長所と短所について考えよう。	・家庭で取り組むことができることを実践してみよう。

2 月	6	調理をしよう (2) 家庭生活と消費 (2) 購入・支払いと生活情報 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の目的や手順を考えて計画を立て、衛生的に、安全に食べられるように調理することができる。 ・消費生活のしくみを理解する。 ・さまざまな支払い方法の利点と問題点を理解する。 ・売買契約について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の準備、作業、盛り付け、後片付けなど適切に行われているかを確認する。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理することができる。 ・売買契約について問題発生の原因や予防方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理を行う。
3 月	6	消費者被害と消費者の自立 (4) 持続可能な社会 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害の予防方法がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した消費者として生活する。

(様式1)

鎌ヶ谷市立第四中学校 第3学年 家庭科 シラバス

【学習の目標等】

【A 家族・家庭生活】

2 幼児の生活と家族

- ・ 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。
- ・ 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。
- ・ 幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。

3 家族・家庭生活や地域との関わり

- ・ 家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解する。
- ・ 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解する。
- ・ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫する。

【消費生活・環境】

1 家庭生活と消費

2 購入・支払いと生活情報

3 消費者被害と消費者の自立

4 持続可能な社会

- ・ 商品を購入するときに環境や持続可能な社会についても考えられるようになる。

【評価の観点及び内容】

【知識・技能】

家族・家庭生活の基本的な知識について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭生活、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

これからの生活を展望し、家族・家庭生活や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【評価の方法】

【知識・技能】

- ・ 定期テスト
- ・ 授業中の小テスト
- ・ 幼児のおもちゃ製作

【思考・判断・表現】

- ・ 定期テスト
- ・ 学習したことをもとにしたレポートの作成
- ・ 幼児のおもちゃ製作

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 授業中の活動への参加状況や発表
- ・ レポートやプリント等の記載内容
- ・ 定期テストや小テスト

【学びを高める学習方法アドバイス】

(1) 学習方法

- ・ 授業には、教科書、ファイル、筆記用具を用意する。(各教室で保管してよい。)
- ・ 裁縫道具を使用するので用意する。
- ・ 幼児のころ、自分の好きだったおもちゃや絵本等を振り返り、幼児にとってどんな役割があるか考えてみましょう。

(2) 授業の受け方

- ・ 話し合いや班での活動に積極的に参加しましょう。
- ・ これからの生活や将来に、どのように役立てられるかを考えながら学習しましょう。

【教科担任からのメッセージ】

みなさんの生活の中で、また、みなさんが大人になったときに役に立つことを多く扱います。学習したら、家庭で実践してみてください。

(様式 2)

月	時配	学習する内容 (時数)	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
4 月	1	家庭分野ガイダンス (1)	中学最後の 1 年間の学習の 見通しをもつ。	学習内容を知り意欲を高め る。	宿題を忘れずに課 題に取り組みまし ょう。
5 月	2	わたしの成長をたどる ＜わたしの成長＞ 幼児の心の発達 ＜幼児期ってどんな時 代？＞	自分の成長を振り返り、親 の思いを知る。 自分の幼児期を振り返り、 幼児の生活に関心をもつ。	今の成長があるのは家族の 支えがあつてのを知る。 幼児期の特徴を理解する。	幼い頃からこれま で、どのようなこ とを経験して成長 してきたか振り返 ろう。 自分の幼少期の頃 の話の聞いてみま しょう
6 月	2	幼児の心身の発達と家族 の役割 ＜幼児の心と体の発達＞ 幼児の遊びと発達 ＜幼児と遊ぶおもちゃ作 り・ガイダンス＞	幼児の心と体の発達の特徴 を知る。 幼児の年齢や発達の特徴を 考えて、幼児の喜ぶおもち ゃを作ろう。	幼児期は人間形成の基礎を 築く重要な時期であること を知る。 おもちゃで楽しく遊ぶ体験 からいろいろなことを身に つけていくことを理解す る。	言語の発達や基本 的生活習慣などに 関心を持ってみよ う。 安全に配慮するに はどのようなこと に気をつければよ いか考えてみよ う。
7 月	1	幼児の遊びを支える ＜幼児と遊ぶおもちゃ作 り＞	幼児が遊ぶおもちゃ・絵本 にふさわしいお話や絵を考 えよう。	使う幼児の興味や年齢に合 っているか、使うときに安 全か考える。	図書室や家にある 幼児向けの絵本を 読んでみましょ う。
9 月	2	幼児の遊びを支える ＜幼児と遊ぶおもちゃ作 り＞ 幼児の遊びを支える ＜幼児と遊ぶおもちゃ作 り＞	幼児向けおもちゃの製作 幼児向けおもちゃの製作	仕上がったおもちゃは安全 に問題ないか確認する。 年齢にあった作品になっ ているか、見極める力をつけ る。	持ち帰り家族に見 てもらいましょ う。
10 月	2	家庭生活と地域でのわか わり 持続可能な家庭生活	多様な人々がいることを理 解する。(高齢者を含む。) 誰もが尊重される家庭・地 域の生活をめざして課題を 見つける。	多様な人々が暮らせる工夫 を考えている。 持続可能な家庭生活を営む ために必要なことを見出 し、自分なりに考えている。	

月	時配	学習する内容（時数）	学習の目標・ねらい	この学習で身につけて もらいたい学習内容・力	家庭学習の要点
11月	2	家庭生活と消費 ＜消費生活のしくみ＞ 家庭生活と消費 ＜物資とサービス＞	消費生活のしくみを知ろう。 物資とサービスを利用して生活していることを理解しよう。	生活にかかるお金の収入と消費のバランスの大切さを知ろう。 物資やサービスは多くが商品として提供され、それらを適切に購入にすることが大切であることを知る。	家庭におけるお金の収入と消費の関係、物の購入について家族の人から話を聞いてみよう。
12月	2	商品の選択と購入 ＜商品購入のプロセス＞ 商品の選択と購入 ＜購入方法と支払い方法＞	必要なもの（ニーズ）とほしいもの（ウォンツ）の違いや、商品購入のプロセスを理解する。 店舗販売と無店舗販売それぞれの特徴を理解し、即時払い、前払い、後払いの特徴が分かるようになる。	本当に必要なものを購入するプロセスを知る。商品購入後その行動を振り返り、環境や社会へ与える影響を考えよう。 それぞれの販売方法の利点や問題点を考え、適切な購入方法を選ぶことができるようにする。	必要なもの（ニーズ）とほしいもの（ウォンツ）の違いを考え、購入以外の方法も考えてみましょう。
1月	2	よりよい消費生活のために ＜契約と消費生活のトラブル＞ よりよい消費生活のために ＜消費者を支えるしくみ＞	契約について理解する。 消費生活におけるトラブルについて理解し、その予防方法、対処方法が分かる。 消費者を支える法律・制度・機関の必要性が理解できる。	契約に伴う権利と義務について知り、本当に必要かどうかを事前によく考えてから契約することができる力を身につける。 様々な法律によって消費者が安心して消費生活を営めるような消費者政策を理解する。	身近な消費生活から、トラブルを防ぐために必要な行動を確認してみよう。
2月	1	環境に配慮した消費生活- ＜自ら取り組むエコ生活＞	生活における環境負荷を理解し、自らできる対策に主体的に取り組める。 循環型社会を理解する。	環境に配慮し、主体的に取り組む消費行動を考え、できることから実行する。	わたしたちの生活の中で実行可能な3Rを確認して見よう。
3月	1	環境に配慮した消費生活 ＜持続可能な社会＞	資源を節約し持続可能な社会に必要な生活スタイルを理解する。	次世代に引き継げる社会を築くため、わたしたちの自らの生活のしかたを選択する。	生活の中で省エネルギーに向けた活動にはどのようなものがあるか調べてみよう。